

疫学研究に関する情報公開

福島県立医科大学産科婦人科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の疫学研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成23年5月 福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 講座主任

【研究課題名】

福島県における慢性低線量被曝が流産期妊娠に及ぼす影響についての研究

【研究期間】

2011年5月～2027年3月

【研究の意義・目的】東日本大震災につづいて、本来あってはならない東京電力福島第1原子力発電所事故が起きました。この影響で、福島県内の環境放射能は急激な上昇を示し、その減少は緩やかであるため慢性的な低線量被曝を生ずることになりました。この、慢性低線量被曝が初期妊娠に影響するか否かに関しては、国際放射線防護委員会(ICRP;1999)からの、50mGy(Sv)未満の胎児の放射線被曝は全く問題ないとの見解はあるものの、影響の有無を証明した報告は少ないのが現状です。今回の事故における環境放射能が初期妊娠に影響を及ぼさなかったという事実を証明することはICRPの見解を証明し、今後の放射線防護にとって有用なものとなることが期待されます。

【研究の対象となる方】

研究期間内に福島県内の産婦人科診療機関を受診され、妊娠と診断された患者さん

【研究の方法】

- ・福島県内を6つの地域(県北、県中、県南、会津、いわき、相馬)に分け、それぞれの地域における全ての産婦人科診療機関を対象とします。
- ・対象の機関を受診され、妊娠と診断された患者さん全てが対象となります。
- ・正常に妊娠継続された方、不幸にも流産となってしまった方、妊娠中絶をされた方の人数を1ヶ月ごとに集計し、それまでの放射能積算値と合わせて検討します。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	(所属)産科婦人科学講座(職)教授(氏名)藤森敬也
主任研究者	(所属)総合周産期母子医療センター(職)講師(氏名)山口明子
研究分担者	(所属)周産期・小児地域医療支援講座(職)講師(氏名)安田俊
研究分担者	(所属)産科婦人科学講座(職)博士研究員(氏名)経塚標
研究分担者	(所属)太田西ノ内病院 産婦人科(氏名)野村泰久

*当研究は公立大学法人福島県立医科大学倫理委員会により承認されています。

【本研究に関する問合せ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 担当 山口明子

電話:024-547-1290 FAX:024-548-3878

E-mail:akiko-y@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 担当 山口明子

電話:024-547-1290 FAX: 024-548-3878

E-mail:akiko-y@fmu.ac.jp